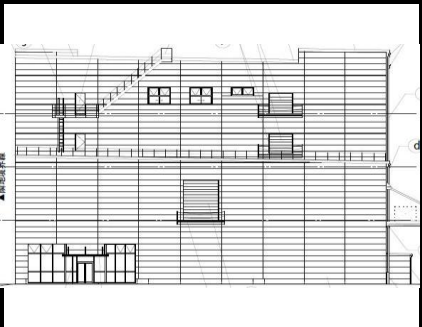


# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)綾瀬市大上一丁目計画	階数	地上4F
建設地	綾瀬市大上一丁目5384-2の一部、5385-1の一部、5384-1、-3、-4、5385-2、-3、5386-1、-3、-4、5387-1、-3	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定なし	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,205時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年5月27日
敷地面積	7,495 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	3,827 m <sup>2</sup>	確認日	2019年5月27日
延床面積	12,864 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

**標準計算**

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 比較的住宅の多い準工業地区に工場を計画したが、周辺住宅の環境に配慮する計画とした。		
<b>Q1 室内環境</b> 内装材はF☆☆☆☆を使用することで配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 壁長さ比率は、0.1以上0.3未満にて計画した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> =0.81	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上材が容易に分別可能にすることで配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される